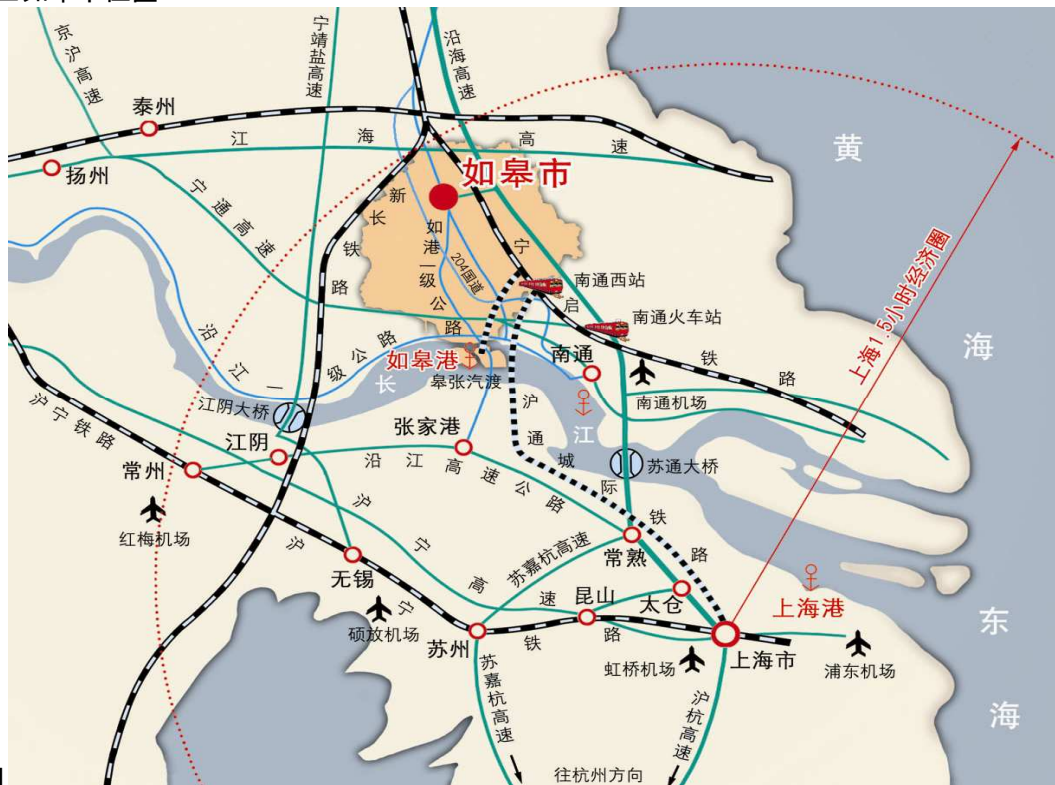


## 如皋市概況のご紹介

2011年8月 上海事務所発

如皋市は長江の入海口北岸にあり、蘇州張家港市と長江を隔てて相對しています。1600年余の歴史を有し総面積は1477平方キロメートル、20ほどの町、1つの省級經濟開發区と省級ソフトウェア園區を擁しています。江蘇沿江沿海開發重點縣市であり、中国盆栽都市、世界長寿都市、中国經濟基本競爭力100強縣市、科學發展100強都市にも数えられています。

### ■如皋市位置



### 交通優勢

寧通高速道路、沿海高速道路、江海高速道路が外に向かって伸びており、蘇通大橋、江陰大橋により上海や蘇州、無錫、常熟といった經濟圏とつながっています。また市内には2本の國家級の長江水運が通っており、長江を使って海に出ることが出来、世界とつながっているほか、張家港との間にはフェリーが就航しています。新長鐵道と寧啓鐵道の他、将来、錫通大橋が完成し滬通都市間鐵道が開通すると上海まで30分で行くことが出来るようになります。また周囲には南通興東空港、無錫碩放空港、塩城南洋空港、上海虹橋空港、上海浦東空港、南京禄口空港の6大空港があるほか、交通部江蘇ヘリコプター基地もあります。このように水陸空の交通が一体化しているという優勢を備え、上海・蘇州・南通の「小ゴールドトライアングル」の中心として、また長江デルタの北翼の交通の中心として物流方面でも優位性を有しています。

### 産業プラットフォーム

如皋には船舶組立、自動車及び自動車部品等の主要産業をはじめ、電力冶金、健康食品、紡績服装

といった伝統産業が盛んです。その他、新エネルギー、新材料、ハイエンド設備製造、ソフトウェア、情報関連といったアウトソーシング新興産業の9大産業体系が備わっています。企業としては溶盛重工、神馬科技、英田集団の各社のほか、如皋港物流基地もあります。15社の1,000億・100億元級企業、50社の超10億元級企業があり、優れた産業プラットフォームを提供しています。

### 港湾機能

如皋は中国対外開放沿海都市として、江蘇沿海開発15重点都市の一つであり、県級唯一の国家一類開放港であり、税関、検疫、海事等の検査機関が設けられています。保税倉庫や輸出管理倉庫を備えるほか、国家保税物流センターも間もなく批准される見通しです。第12次5ヵ年計画末期には億トン級の大型港湾となることを目指しています。

### 町機能

如皋は長江デルタ一体化に積極的に呼応して、江蘇沿江沿海開発を推し進めています。町毎に機能を持つ長江町（如皋港区）、省級経済開発区（柴湾町）、如城町（城関町）、科技城（桃園町）といったメイン機能区の建設や開発を進め、産業区内排水、強弱電、天然ガス、工業ガス、道路などの基礎インフラ建設を進め、産業負荷能力を一貫して高めつつあります。

### 資源要素

工業化、都市化、農業現代化を強力に推し進めるとともに、土地の有効活用や田畑の整理整頓等にも力を入れています。また電力供給も十分であり、域内30ヶ所の変電所（内、50万ボルト1ヶ所、22万ボルト3ヶ所、11万ボルト11ヶ所）があり、電力需要を完全に満足させることができます。また教育にも力を入れており、職業技術専門学校からは毎年数千名の高い技術を持った人材が供給されています。

### 2010年の実績

如皋の地区GDPは430億元（昨年同期比20.9%増）、財政総収入78.1億元（同50.9%増）、普通予算収入33.7億元（同55.6%増）を実現し、蘇中蘇南において1位となりました。また税収では全省第3位となり、工業販売税580億元を実現しています。

### 4大メイン機能区その1：長江町（如皋港区）

#### 如港新町

如港新城区は江蘇沿海地域における現代的な濱江都市であり、工業主要地です。計画面積は11.8平方キロメートル、2015年には区内人口20万人を実現し、区内の12.5キロメートルの東西南北幹線道路が全面的に完成し通行可能となります。

### 産業園

国家一類開放港であるところから物流産業に優位性を持つほか、船舶製造、石化、精密化工、環境省エネ関連産業、通信電器等の産業が大いに発展しつつあります。更に6大産業園区の建設も進んでいます。

### 現代物流園

如皋港の現代物流園区の面積は12.4平方キロメートル、河川岸線27.7キロメートル、港湾作業区用地総面積7.9平方キロメートル、物流作業区用地面積4.5平方キロメートルとなっています。機能により現代総合物流園、化工物流園、船舶物流園、鋼貿易物流園、バラ積み物流園に分かれます。

### 生態養生園

長青沙生態旅行リゾート区は如皋における観光リゾート主要構成部分で、水・空気・土壌は自然の原生状態にあり、風光明媚な環境にあります。「国家級風景区」、「国家級湿地公園」、「国家級体育運動

訓練基地」、「国家級療養基地」、「国家級農業研究開発基地」となっています。

#### 4大メイン機能区その2：江蘇省如皋経済開発区（柴湾鎮）

江蘇省如皋経済開発区は1993年12月江蘇省人民政府により批准され設立された省級開発区であり、総面積106平方キロメートル、人口12.6万人の都市型、生態エコ型、産業集中型、サービス高効率型の現代都市型経済区です。10数年の開発を経て既に「一町三園」が形成されており、一町は城北如意新城を指し、三園は現代農業産業園、現代産業製造園、現代物流園を指します。特に現代産業製造園では太陽光関連産業、新エネルギー自動車及び自動車部品、電子電気、プレス装備、現代紡績服装、特色食品等の7大産業園が含まれます。区内には1,000余の大中小企業があり、外資企業は72社、輸出型企業は168社、年販売額超億元企業は30社あり、累計外資導入額は20億米ドルを超えます。第12次5ヵ年計画では上海経済圏の裏庭となることを目標としており、全面的で“機能型”、“基地型”、“生態型”の経済開発区の建設を推し進めます。

#### 4大メイン機能区その3：如城町

如城は中国共産党如皋市委員会の所在地であり、全市の政治、経済、文化、交通の中心であり、総面積は169.5平方キロメートル、人口は26.5万人です。西部工業区では自動車及び自動車部品産業園や光熱産業園が建設され、また東部工業区では装備製造産業（風力発電関連設備）をはじめ、新材料産業園、南部顧庄生態園、新型電力装備産業園等による100億元産業基地の設立を目指しています。

#### 4大メイン機能区その4：科技城（桃園町）

科技城（桃園鎮）の総企画面積は77平方キロメートル、“四園両区一町”により構成されます。“四園”とは8平方キロメートルのソフトアウトソーシング産業園、8平方キロメートルの電子情報産業園、6平方キロメートルの新エネルギー産業園、2平方キロメートルの桃園工業園であり、“両区”とは8平方キロメートルの龍游湖商務区、3平方キロメートルの現代高効率農業区であり、また“一町”とは2平方キロメートルの桃園町区であり、主として科学技術の発展を奨励しています。

■連絡先 如皋市招商局（如皋市行政中心B座205室）

電話 0513-87288398      ファックス 0513-87289586

✉メール [zsjbgs@sohu.com](mailto:zsjbgs@sohu.com)

ウェブサイト <http://www.rugao.gov.cn/>

上海事務所長 後藤雅彦

（如皋市提供の資料を整理編集）